

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【公表番号】特表2011-509072(P2011-509072A)

【公表日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-012

【出願番号】特願2010-538283(P2010-538283)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 0 1 H	5/00	(2006.01)
A 2 3 L	1/10	(2006.01)
C 1 2 N	9/10	(2006.01)
C 0 7 K	16/40	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
C 1 2 P	19/04	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 N	5/00	1 0 3
A 0 1 H	5/00	A
A 2 3 L	1/10	Z
C 1 2 N	9/10	
C 0 7 K	16/40	
A 6 1 K	39/395	P
C 1 2 P	19/04	Z
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月15日(2011.12.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

細胞により生成される(1,3;1,4)-D-グルカンのレベルを調節する方法であって、該細胞中のC_s1Hによりコードされる(1,3;1,4)-D-グルカンシンターゼのレベルおよび/または活性を調節するステップを含む方法。

【請求項2】

(1,3;1,4)-D-グルカンシンターゼのレベルおよび/または活性が、細胞中のC_s1H核酸の発現を調節することにより調節される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

(1,3;1,4)-D-グルカンの生成方法であって、単離されたC_s1H核酸で細胞を形質転換するステップ、および該細胞に該単離されたC_s1H核酸を発現させるステップを含む方法。

【請求項4】

前記細胞が植物細胞である、請求項1～3のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 5】

前記細胞が穀類植物細胞である、請求項4に記載の方法。

【請求項 6】

以下：

同じ分類群の野生型細胞と比較してそのレベルおよび／または活性が調節された、C s 1 Hによりコードされる(1, 3 ; 1, 4) - - D - グルカンシンターゼ；ならびに／あるいは

同じ分類群の野生型細胞と比較してその発現が調節されたC s 1 H核酸のいずれか1以上を含む細胞。

【請求項 7】

同じ分類群の野生型細胞と比較してそのレベルが調節された(1, 3 ; 1, 4) - - D - グルカンをさらに含む、請求項6に記載の細胞。

【請求項 8】

請求項1または2に記載の方法により作製された、請求項6または7に記載の細胞。

【請求項 9】

植物細胞である、請求項6～8のいずれか1項に記載の細胞。

【請求項 10】

穀類植物細胞である、請求項9に記載の細胞。

【請求項 11】

請求項6～10のいずれか1項に記載の1以上の細胞を含む多細胞構造物。

【請求項 12】

植物全体、植物組織、植物器官、植物部分、植物繁殖材料、または培養植物組織からなるリストより選択される、請求項11に記載の多細胞構造物。

【請求項 13】

穀類植物、またはその組織、器官もしくは部分を含む、請求項11または12に記載の多細胞構造物。

【請求項 14】

穀粒を含む、請求項13に記載の多細胞構造物。

【請求項 15】

同じ分類群の野生型細胞と比較して食物纖維含有量が調節された細胞を含む、請求項1～14のいずれか1項に記載の多細胞構造物。

【請求項 16】

同じ分類群の野生型細胞と比較して(1, 3 ; 1, 4) - - D - グルカンレベルが増加し、かつ同じ分類群の野生型細胞と比較して食物纖維含有量が増加した細胞を含む、請求項15に記載の多細胞構造物。